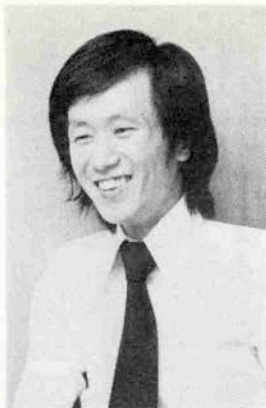


神戸のブティックシリーズ

## This is Kobeを旨指して

岸野恭久さん 〈シンワ専務〉



『昔の神戸が好き』と岸野さん

服地を買うなら神戸、と今でもいわれる。センター街本店、さんちか店と三宮に二軒あるシンワは三十余年の歴史を持ち服地専門店の中でも草分け的存在。去年改装したセンター街の店では、服地だけでなく海外ブランドのブレタも扱うようになった。若手二代目の専務岸野恭久さんに神戸の町、ファッション、そしてこれからのシンワについて伺う。

「一時ブレタが全盛でしたが、最近再びホームソウイングが見直されてきましたね。小物でもちよつとした服でも作ってしまおうと……」

「自分たちの手で作るということで、物に対して愛着が持てるでしょ。製品を買うだけという冷たい感じじゃなくて生活といえますか、温いものが非常に求められているのじゃないでしょうかね」

今さんちか店は生地、それもいわゆる高級服地だけを

置いているのですが、来年三月にオープンする名谷店は全部の目的にかなうオールパーパスな生地を置くつもりです。カーテンやエプロンや、あるいは服になる生地。人々の生活が郊外型になるとこういう生活に密着した生地が求められるようです」

「ホームソウイングはこれからますますはやっていくということですか」

「ブレタがどんなにはやっても決ってホームソウイングと高級服のオーダーはなくならないと考えています。僕二年間バリにいたんです。十年程前だったのですがそこで感じたことは製品がファッション業界では最終的にリードしていくってことなんです。その当時まだ日本は生地屋が花型だった。フランスでは製品が中心で普通の家庭の主婦の普段着はホームソウイング、外出着にブレタという使いわけをしているんです。そして一部の層の人がオートクチュールと」

「そういう製品中心志向を見てシンワにもブレタをおこうと考えられたのですか」

「いいえ、当時はまだやはりシンワは生地地地と思っただけだし日本が製品中心になるには随分時間がかかると考えてたんです。ところが回転が早くて三、四年もするとブレタのブティックが花型となりました。で去年本店を改装したのでこの機会にと一階にブレタを置いています」

「フィンランドのアローラ、イタリアのギルダ・グレイなどあまり日本に入ってきていないブランドです」



＜左＞本店二階ではオートクチュールを扱っている、岸野幸子さん（慈久さんのお母上）はデザイナー。かつてのハイカラ神戸っ子のお洒落を身につけておられる。  
 ＜右上＞本店一階アローラ、ギルダ・グレイ、ムーンズ（伊）、アリエ・パリ（仏）のプレタのコーナー ＜右下＞さんちか店

「ええ、有名ブランドというのは厭だったんです。名前ではなくて本当にいい物と考えました。アローラは実はイギリスの王室でも愛用されているもので、型はシブルなのですが素材に凝っていて天然繊維しか使っていないんです。それと、実際には着れなくても、ウインドウに飾ってあるのを見ているだけでも楽しいといっていただけのものなど置いています」

——ヨーロッパでは着れても日本の町では着にくい服ってまだありますね。

「膚を出す服なんかそのようですね。でも日本の女性のファッションも進んできて、今はとてもまとまってきたと思いますよ」

——これからは？ 日本の女性へ一言アドバイスを。

「第一に外国へのコンプレックスを捨てるべきです。洋服の原点はヨーロッパですがそれをそのまま日本に取り入れるという姿勢では日本のファッションは育ちません。原点という意味ではヨーロッパファッションは魅力ですが、昔の神戸っ子のファッションも魅力だったと思うんです。今の四、五十代以上の方がそういう神戸ファッションを作っていたらと思うんです。人と同じ物を着るのは厭だとか、同じ物を着るならさり気なくうんとうまく着こなしてやろうという心意気。神戸ファッションというのはこれがそうだというのじゃなくて、センスのある神戸っ子が着ているものが神戸ファッションだったわけです」

——そういう粋な神戸っ子たちは減ってきましたが、ビルが並んでセンター街の持っていた神戸らしさも変わってきましたね。

「空間やゆとりの少ない店がふえてきました。だからこの本店は吹き抜けを作って、木と石と煉瓦だけの“天然素材”をつかっているんです。かつてのいい意味の神戸の町にも一度戻したいですね。おぐがましいかもしれないのですが、THIS IS KOBEというつもりで頑張っていきます」

● ジョイント自由広場 (J U L Y)

## 5歳みみへのインタビュー

インタビューアー

小島 素治

フォトグラファー

堤 一朗



土曜日の午後は、いつも娘のみみを連れて東京競馬場に出掛ける。「むさしさかい」の駅から、西武玉川線に乗り継いで府中へ。「きょうていじようまえ」を過ぎ、終着の「これまさ」の駅に着いたのは、昼を少し回ってからだった。

5レースには間に合わないが、6レースからはいける。

駅前の商店街と、田園のなかを往復する単線は、東京ではほとんど

考えられない素材な日本の風景の  
ひとつといえるだろう。  
僕はこの電車が好きだ。それにし  
ても、競艇と競馬のために走らせ  
ているなんて、なんとも不思議な  
気がする。

僕

ここはどこ。

みみ

東京競馬場でしょ。

僕

どこの競馬場が好き。

みみ

ここ。公園があるでしょ。  
パンダのすべり台があるで  
しょ。

僕

ふーん。その他ではどう。  
淀とか。

みみ

おばあちゃんの住んでる近  
くの競馬場のこと。あんな  
り。

僕

うん。話は変るんだけど、  
神戸についてのイメージつ  
てある。

みみ

何、なに！

僕

こうべのこと。

みみ

ジムシヨがあるでしょ。み  
みの生まれたところ。

僕

海とか船は。船に乗ったつ  
け。

みみ

憶えてない。

僕

今日は写真を撮るんでホシ  
星のオーバオールで決め  
てるじゃない。

みみ

コーチャン（僕のこと）が  
決めたんじゃない。ツツミ  
さんが撮るの。

僕

うん。有名カメラマンなん

だから。  
みみ  
ふーん。

第7競走（発馬十四時）の出足の  
頃、ビール片手の僕はスタンド前  
で堤君の手の振るのを見つめる。

僕

ボラロイドカメラで仕掛け  
を作ろうよ。

堤

どうゆうふうに。

僕

ゴール前では皆んなレース  
に夢中だろう。僕とみみだ  
けが反対の方を向いちやう  
から、そこ撮ってよ。

堤

面白い、面白い、OKです。  
みみは幼稚園で何して遊ん  
でるの。面白い。

僕

えーと、いろいろ。面白い  
よ。

みみ

虫歯のこと先生が治しなさ  
いって報告してきたよ。

僕

（黙って気分を悪くしてい  
る）

みみ

さあ、いける。

僕

みみちゃん！ こつち向い  
て！ 駄目じゃない。

堤

ゴール板を過ぎたよ。

僕

という訳で取材の写真は、見事に  
失敗しました。そのあとの第8競  
争では②①⑥を的中させ僕は御機  
嫌です。

あしたの「安田記念」を最終日に、  
中央競馬は夏に向って場所を変え  
る。

小島素治さんは『ドレフサイジイ』編集長。  
その独特の感性は知る人ぞ知る、という存在  
で、現在は神戸と東京を往きつ帰りつ、活躍  
中。

堤一朗さんはエディトリアルファッシュショ  
ンカメラマンとして日本で五指に入るとい  
われつ。

## ●ジョイント情報（7月）

### ★7月13日～22日 バーンスバザール

期間中お手持ちジョインズを下どりい  
たします。どんなジョインズでもOK。  
500円、1,000円、1,500円、3,000円、  
3,000円以上の価格をその場でくじびきでつ  
けるといから面白い。また期間中、  
3,000円以上お買い上げの人の中  
から抽選で20名様を8月4日～8日与  
論島にご招待いたします。

★早く7月13日～22日

早朝ジョギング大会を、毎朝7時か  
らラジオ関西前で。22日にはミニマ  
ラソン大会を行ない、男の上位3名、女  
子の上位3名、マナーの良い人4名を与  
論島にご招待。

★7月15日

さだまさしコンサート（9月11日・  
於神戸国際会館）のチケット独占販売  
開始。2,500円、2,300円、  
2,100円。

★毎週土曜日

フレンドリー  
コンサートを開  
演します。ご  
自由にお立寄り  
下さい。

三宮ジョイント

平塚神戸市生田区三宮三丁目三番地

丁目三番地

丁目三番地

丁目三番地

丁目三番地

丁目三番地

シーニクライフ・ジ・アーショイト

**jjoint**

JEANING LIFE

三宮・ジョイント

〒650 神戸市生田区三宮三丁目三番地



私の映画手帖 18

# メリー・ピックフォード のこと

淀川 長治 (映画評論家)

五月二十九日。サンタモニカの病院で死去。八十六才。二十五日自宅の彼女の部屋で意識を失っているのを夫のチャールズが発見してあわてて入院させたと報じられていた。夫のチャールズはチャールズ・パッディ・ロジャースと呼んだ、バラマウンツの青春スタアの一人であった。青春スタアというのは一九二七年(昭和二年)ごろバラマウンツはリチャード・アーレンをその第一号そして第二号がパッディ・ロジャース第三号がゲリー・クーパーつまりこの一、二、三はすでに当時の売り出しの人氣順でクーパーが一番新人というその一九二七年前後この三人をバラマウンツの三羽がらすと呼んでこの三人の作品をどんどん製作した。のちにアーレンはアル中となり最後にはさびしいわき役に落ちたがクーパーは輝けるスタアになりロジャースは一九三六年、彼の三十二才のときに四十三才のメリー・ピックフォードと結婚し七十五才の今日にいたるまでずっとメリー・ピックフォードの夫としての人生を送ってきた。今はアーレンもクーパーも死去した。

メリーは一九一〇年にオーエン・ムーアと結婚した。十七才のときである。オーエン・ムーアにはトムとマツトという兄弟があり三人ともサイレント時代の人気スタアでアイルランド系のこの三人まゆ毛の濃く美男子揃いであったが、とくにトムとマツトのちに有名となった。オーエンはアル中になり、この夫と別れたメリーは一九一九年、二十六才のときに当時の大スタアのダグラ

ス・フエアバンクスと結婚した。ダグラスにはすでにそのとき妻もあり八才になる息子もいたのだが、二人は結婚した。この二人の結婚はあたかも、のちのあのヴィヴィアン・リイとオリヴィエのスタア夫婦の人氣と同じように世界の大きなニュースとなった。ところが、やがて彼とも別れ、一九三五年こんどは十一才年下のチャールズ・パッディ・ロジャースと結婚した。ところでこのパッディというこの青年スタアのみドル・ネームは(お兄ちゃん)とか(いい仲間)という意味なので、それでこの青年スタアのムードがおわかりかと思う。坊ちゃん青年の上品さがあつた。メリーと結婚してからは映画界を引退しメリーのおかえ亭主みたいな人生を送ってしまった。現在七十五才。

カナダ生れのメリーの父はオンタリオ湖の汽船会社の事務員だったがメリーの五才のときに亡くなり母はこれからの生活に困ってしまった。メリーには二つ年下のロティという妹と三つ年下のジャックという弟がいた。そのとき母はまだ二十四才だった。メリーは生活のため巡業団に加わり、やがて九才のときにはその一座のスタアになっていた。本名グラディス・スミス。この子役スタアのころはベイベイ・グラディス。この巡業団のこの子役を見た有名なベラスコ劇団のデビッド・ベラスコが彼女をブロードウェイの松舞台に立たせ、このときメリー・ピックフォードと芸名をつけた。この彼女を活動写真が始ってまもないころのグリフィス監督が認めて一九〇九



『ドロシー・ヴァーノン』より



『ロジタ』より



『小公子』より

年(明治四十二年)日給一〇ドルで映画入りさせた。十六才の時である。さて一九〇九年から活動写真に出ていたということは活動写真の始まりから出ていたといってもいいわけだ。リリアン・ギッシユもメリーがグリフィスに紹介してやったのだし、チャップリンが初めて映画に出たのも五年あとの一九一四年。尾上松之助が活動写真に初めて出たのがメリーとちょうど同じの明治四十二年だった。さてメリー・ピックフォードの映画では「農場のレベッカ」「孤児の生涯」「シャボンの泡」「愛の燈明」「勝手口から」「小公子」「嵐の国のテス」「雀」などが日本で封切られた代表作だが、いつも少女役を演じているうちに三十才を迎え、そこでエルンスト・ルビッチというドイツの有名監督に頼んで「ロジタ」という色っぽい女の映画を作ったがこれは失敗だった。そのうちトーキー時代となり夫のダグラスと共演のシェイクスピアの「じやじや馬馴らし」(一九二九)を作ったが、やがて引退した。考えると人間は誰でも苦勞の多い生涯を送るわけだ。

しかし彼女の一九二〇年代の人気たるやすごいもので全米市民から(アメリカのスイート・ハート)と呼ばれ、一九一九年にはチャップリンとダグラスと彼女とグリフィス監督の四人でユナイテッド・アーチスツ社を創立した。私は大正十二年(一九二三)に神戸で封切られた「シャボンの泡」があまり楽しかったので謄写版にこの映画ストーリーをこまかく書いてそれをザラ紙にすって神戸三中の友人たちに配ったことがあった。「雀」は神戸のキネマ倶楽部で見たがその追跡シーンの音楽伴奏までを今も覚えている。「嵐の国のテス」も漁村で彼女が他人の赤ちゃんを押しつけられてその泣く赤ん坊を抱いているところの夜景。空には三日月が美しく船の灯が波にゆれていたそのシーンでは(インディアン・ラメント)のヴァイオリン演奏だったことを記憶している。サイレント映画から音楽をしようというのも面白いことである。このメリーの死はアメリカ映画第一頁にその歴史を残し、生けるスタアは現実には消え去ったさびしさを受けた。

# 女体百鬼

83

## ピラピラ族

細川

 ただす  
董〓文とえ／哲学者〓

今月は、久方ぶりにエッチ・ジュニア編さんによる幻の名典、「貝類図鑑」をひも解くといった体裁で、最近出逢ったピラピラ族を御紹介させていただきますぞ、ハヒフヘホ……とページをめくって行くとこの項の終りの方に、ピラピラ族が出てくる。

ピラピラ族とは、貝がらからはみ出しているピラピラの肉質部が巨大なる女類をいう。

大きいピラピラ、小さいピラピラとピラピラにも二種類ある。

すなわち、大きいピラピラが巨大化したものと、小さいピラピラが巨大化したものの二種である。

貝殻からはみ出した部分が、ピラピラに巨大化した女族の容貌上の特徴は、顔色はもとより体色まで、やや、しらけ色。ツヤに乏しく、ふやけ顔にて、如何にも機械も、さぞやたるみがちならんと想像に難くない。からだは筋肉質の反対で、ブヨブヨとやや太り気味。

顔は扁平必ずしも口は大きくないのを常とする。目細し。

大柄女に多し。

機械も巨大にて、いわゆる「大海にゴンボウ」を洗うのたぐいなれども、興奮し、エキサイティングし、エクスタシーに達するに及べば、ピラピラをまさにピラピラとあかえいの如くピラつかせて男の機械を包み込み、悩殺するところからピラピラ族と呼ばれる。

別名、アカエイ女と呼ばれるのもこの理由による。

\* \* \*

最近、H先生がピラピラ女に出会ったのは、三宮のあるクラブのことでした。エレベーターが止るともうそこはクラブの中でした。

入口もなければ、従って出口もないエレベーターの入口兼出口が、即、クラブの入口兼出口なのです。

こんな大っぴらにアケスケな入口兼出口をもったクラブで、ピラピラ族に出会うとはなかなか象徴的なことでもあります。クラブの名前もついでに「ピラピラ」としておきましょう。

このクラブのマダムが実はピラピラ族だったのです。

「あなたは大きい方、小さい方？ いや大きい方だろうなあ？」

「ええ、私、大きいの。お分りになる？」

「やっぱりねえ」

「顔で分るんですか？」

「もちろん！」

「でも先生、私、何ていうのかしら。ピラーとたれてるの」

「大陰唇が？」

「そう。大か小か知らないけど」

「それがピラピラ動くんだろ？」

「さあ。そんなこと私分らないわ」

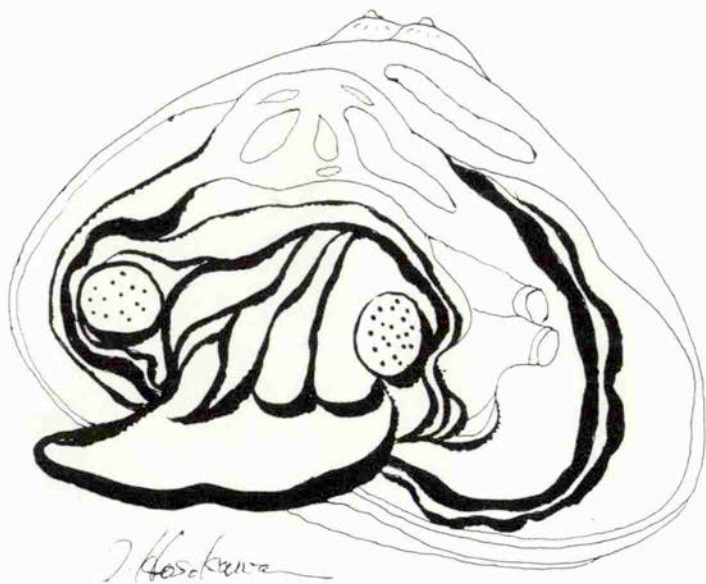
「いや、きつと動くに違いない」

「そんなに知れたかったら、ご自分でおためしになったら？」

「ためしてもいいの？ためさせてくれるの？」

「……だからいつてるじゃない。ご自分でおためしあそばせて」

「分りました、分りました」



ぬ男のエクスタシーを存分に満喫したのであります。

●細川先生の近況「好評だった朝日放送『土曜の朝に』のレギュラーが6月23日で終了。『長い間観ていた』とありがとうございました」と細川先生より視聴者の方々へ。七月からはF.M.大阪「夜の美術散歩」(毎日曜 9:55 P.M. 10:00 P.M.)でDJが始まります。ご期待ください。また絵画では秋の二科展と國展の出品作品製作に大奮闘中。大阪新聞「細川童の実験行動学」(毎月曜)の連載もますます好評。今夜は俳優の分野に進出して、日本のチャップリンになる、と張り切っておられる細川先生。5月に旗上げ公演をした劇団「ごさまわり」の公演が次回は秋に決定。

\* \* \*

なるほど、ご本人のおっしゃる通り、一本がらくらくと二本になり、まあここまではごく普通なのが、彼女の場合は、それが三本になり、四本になり、驚くなかれ、五本になり、もうこうなればままよと、ズッポリ右手一本入ってしまったという次第である。

あとは読者のご想像におまかせする。

大海にたゆたう大あかえいのビラビラ大遊泳は、何と、大らかで優雅に彼女を印象づけたことか！

後から、後から、大波のように打ちよせるヒダの攻撃に、さすがのエッチ・ジェニア氏もホーン岬を越える堀江謙一さんのヨットのようにな、うにいわれ

# ぴっと・いん



## ★六甲ブルーマウンテン

8周年記念サーヴィス  
阪急六甲南側のブルーマウンテンが8年目を迎えて7月15日までボトルキープサーヴィスをしている。石阪春生画伯の素描画が並んでインテリアや雰囲気もそれに合ったネオ・クラシカル調の洒落たサロン。

さてボトルキープのサーヴィスだが、オールド、ロバートブラウンが2500円の大奉仕。10台まで駐車可能スペースのあるあたり、いかにも六甲の店らしい。

阪急六甲駅南・八幡神社西通り  
☎861-5585  
10AM-11PM無休

## ★暑い夏には冷やして

飲もうー本直し

「本直し」というお酒をご存知ですか？ 甲南漬の高嶋酒類食品が出しているが、以前は「柳かげ」という名で知られ、これは古典落語のなかにも登場する。心から涼しうなるや、と謳

われて来たように、冷やして飲む酒として親しまれている。これは、粕取焼酎と味酢とから造るが、甘口で口あたりがよく、酒独特の匂いも殆んどないので、特に女性に好評だ。といつてもアルコール度は22度と結



「本直し」

構強く、水を入れて、レモンの輪切りをそえ、ロックで飲むと暑さも吹っ飛ば夏酒。一・八ℓ入650円と値段も安い。甲南漬本舗本店で扱っている。

甲南漬本舗本店／阪神新在家駅下車  
国道43号線山側 ☎841-0551  
9:00AM-7:30PM無休

## ★洋酒党の方はぜひ一度

生田神社入口の輸入洋酒専門店「ふじや洋酒店」が会員制の輸入洋酒倶楽部「グラスゴー」をオープンし会員の親睦を計る「グラスゴー会」も結成された。

この店の特徴は戸棚に輸入元の46社よりなんと600本もの輸入酒が整然と陳列され、それらを百貨店売



オーナー高部美良氏（右端）

りの価格でキープできるシステム。一杯売りもカティークなど400円から最高は4,000円まで約40種類ある。いろんなお酒を飲みながら飲みたい人には、興味ある店だ。

阪急三宮駅三軒山側でっさんビル3F ☎078-3392-0376

## ★バックステージ満2才に 8百人が大集合

神戸の若者に人気のビアホール「バックステージ」が開店2周年。これを記念して去る5月22日、宮本直介、中山正治、高橋俊男、タミー高杉らの演奏者をゲストに迎えて、飲み放題、食べ放題、しかも無料の大パーティを開催した。

タダのせい、約8百人が集まり、店内は熱気いっぱい。空いたボトルが244本。日頃の感謝を込めての催しだが、同店のスタッフたちはもうグツタリ。

## ●神戸うまいもん とドリンキング

本格派日本料理

割烹吉本

生田警察署西口前  
☎392-2020

割烹吉本が移転して三か月、古い日本家屋を生かした民芸的な雰囲気のお店として好評を博している。1階は堀りごたつ式のカウンター、2階は大小の座敷席で、落ち着いて、腕によりをかけた日本料理の逸品が味わえる。



特に夏場には、材料をぜいたくに使ったはずし、一つ一つノミで彫った水鉢入りの茶そばが毎年人気を呼んでおり、会席料理の中の一品として取り入れられている。

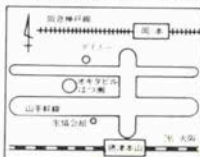
ご主人は、料理学校の講師も勤め、店でも試食会をやるなど、意欲的に本格的な日本料理づくりに取り組んでいる。

当店のうどんは  
全く機械を使用せず  
人力だけで作ります



名物 揚げたてのうどんに土しょうがと  
花かつおの香り 揚げうどん ¥420  
名物 梅と花かつおの風味豊かな  
梅花うどん ¥420

ざるうどん 380  
うどん定食 480  
お持ち帰りうどん  
ざる土産 430  
うどん玉 150  
営業時間  
11:00AM~8:00PM  
毎週水曜日定休



手打ちうどん

はっ瀬

神戸市東灘区岡本1丁目4-17 オギタビル味の町地下一階  
TEL 078-411-9161

Left Alone

JULY 7, OPEN!

黒と白を基調にしたモダンで  
シンプルなインテリア  
快いジャズサウンドが流れる中で  
くつろいだひととき  
おしゃれなジャズの店のデビューです

7月7日(土) 6:30PM

たなばたライブ

宮本直介クインテット+タミー 高杉 (VO)  
3,000円 (オードブル、ドリンクス付)

●ビッグ・ライブ●

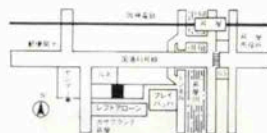
7月14日(土) 7:30PM 9:00PM 10:30PM

15日(日) 1:30PM 3:00PM

ウィスリー

〈前田憲男 (P)、猪俣猛 (ds)、荒川康男 (b)〉  
3,000円 (ワンドリンク付)

●  
毎週末には関西で活躍をしているミュージ  
シャンを中心にライブを、また、スペシャル  
ゲストによるビッグ・ライブも企画してい  
ます。



カサグランデ芦屋 レフトアローン 芦屋市平田町1-38

TEL (0797) 34-0385

11:00AM~11:00PM

**Hat dog**



なんすい

**軟水のCoffee  
味、また格別。**

営業時間 午前10時～翌午前2時



コーヒーハウス

**ハットドッグ**

バス停《中山手1丁目》南側角

☎ (078)321-1689

**ムサシ**

コーベ・三宮

やっぱりうまい・むさしのとんかつ

本店

三宮・センター街 TEL 321-0634

11:00AM～7:30PM 毎水曜日休み

さんプラザ店

三宮・さんプラザB1 TEL 391-2427

11:30AM～8:30PM 第1・3月曜日休み





## ★オープン間近かの

中國歷史博物館

開港以来の神戸と中国との交流の歴史を一目で分るように――と、「神戸華僑歴史博物館」の資料集めが急ピッチに進んでいる。



神戸中華総商会ビル

これは、陳徳仁神戸中華総商會會長が20年前からこつこつ資料を集めていたもので、現在、生田区海岸通3丁目に建設中の神戸中華總商會ビルの2階フロアを同博物館に使用、10月中旬にオープンする予定だ。

この種の博物館は世界でも例がなく、大いに期待されるどころだが、単に華僑だけの歴史にとどまらず、神戸の発展と共に華僑の発展があったという考えから

同時に神戸市の歩みも展覧される。また、文献や写真だけではなく、当時の華僑が使用していた日用品や衣服など、生活史も分るよう  
に展示に工夫がこらされて  
いる。

ただ、頭が痛いのが資料の充実。心当たりのある方はぜひご提供下さい——と陳さんは呼びかけている。

## ★神戸市民オーケストラ

6月21日に結団式

長い間神戸っ子が待ち望んでいた市民オーケストラ  
第一歩を踏み出すメンバー  
が5月末のオーディション  
で決定、6月21日にその結  
団式が行なわれた。オーデ



朝比奈 千足さん  
その人の中にはイシヨンの  
中が応募約140人

のほとんどがアマチュアといふこのオーケストラ、平均年齢が25才というから若い情熱の演奏が聞きものだ

## ★生田さん古式豊かに

上棟式と東門石鳥居通始式  
生田の森の緑鮮やかな6  
月1日。生田神社の神楽殿  
収蔵庫、社務所上棟式が、  
朝11時より古式にのって執  
行された。また引き続いて、  
生田神社の東門石鳥居の竣  
工通始式が行われた。この



東門石鳥居通始式

鳥居は、慶安3年徳川初期に建立された、この神社で一番歴史ある鳥居だった。が、昨年11月9日交通事故に遭い崩潰。下請けの下請けによる事故にもかかわらず崎崎建設(崎崎忠夫社長)が再建。古い鳥居も社内に配置して通台式が齎行された。

## ★コンパクトに丹生文化の

話題を集めて

「丹生連山は東西約25キロ、南北約6キロの小さな山塊だが、稚児が墓山以西丹生山に至る間、電柱一本立っていない大自然の山地である」と作家の杜山悠さ

誕生日  
ありがとう



あたにかい心に支えられて  
本運動へは、誕生日を迎えた方  
から、毎日たくさんの手紙や献金  
が寄せられます。本号では、最近  
の手紙を紹介いたします。

◇最近この運動を知った者です。わずかな節約の中から、この運動の片隅にでも参加させていたきたいと思ひ、ほんとうに気持ちだけですを送らせていただきます。

運動のねらいを読みました。健康な私は、このような事が遠い問題のように思っていました。毎日少ない人数ですが、小さい子ども達をみている時ふと「この子達は幸せだなあ」と思い、心より感謝いたしています。

運動にたずさわれているみなさま、どうぞ、この運動が広く長く続いて、みんなが幸せな笑顔で遊ぶ子どもで、いられますようがんばってください。

(兵庫縣城崎郡 女性)

◆誕生日がありがとう運動のことを  
去年新聞で読みました。その時に  
おなかのいた博尊も、その六月二  
十二日で満一才をむかえようとし  
ています。

たいした病気もせず無事に初め  
ての誕生日を迎えることができ、  
とても嬉しく思っています。

わずかですが、博尊用の貯金箱  
の中の一部を送ります。

こうしたあたたかい心に支えられ、こつこつと草の根福祉運動を推進しています。

ありがとう運動本部

651 神戸市葺合区御幸通八ノ一ノ六  
神戸国際会館一階郵便局の隣  
電話二五一八一六一内線三一六

んが書かれているが、大自  
然の丹生山を守るだけでな  
くそこに培われた文化を守



丹生山系を歩く  
杜山さん

り育てていきたい、との願  
いから昭和53年11月に発足  
したのが「丹生文化を育て  
る会」。ただ、一般にはま  
だまだ丹生文化を知らない  
人が多いので、会の運動を  
ピー・アールし、丹生文化  
を育てることへの一般の理  
解を深めるためにこのほど  
生まれたのが同会の機関紙  
「丹生」である。

これはハガキの両面を使  
用して、丹生山の歴史紹介  
会の歩み、ニュース、会員の  
研究発表などをコンパクト  
にまとめた、いわば丹生通  
信。これによって一人でも  
多くの人に丹生文化を知っ  
て貰いたい」との杜山さん  
の願いがこめられている。

月刊で6月で4号になる。  
丹生文化を育てる会／神戸市北區甲  
栄台1丁目9-1103 杜山方  
電話592-6848

# ★集まれ!

芦屋サマーカーニバル  
埋立地の高層住宅に住む  
新しい市民と、従来から住  
む市民のコミュニケーション

ンの場を作ろうと、芦屋青  
年会議所(高津匡順理事長)  
主催の第一回芦屋サマーカ  
ーニバルが8月5日(日)

芦屋川畔の松浜公園で午後  
2時から8時迄開かれる。  
子供みこし、市内パト  
ン

トワラズ、地車などのパ  
レードやチビッ子カラオケ  
大会、チャリティオークシ  
ョン、有馬太鼓など盛りだ  
くさんのプログラム。公園  
に櫓を組んで盆踊りも繰り  
広げる。市民参加の楽しい  
お祭りが期待できそうだ。

# ★バリ祭前夜はやはり

7月11日(水)、神戸国際  
会館で「クイーン フォア  
カールド コンサート」と称  
する聞くからに素敵そうな  
コンサートがある。4人の

クイーンとは?石井好子、  
戸川昌子、水森亜土、そし  
てエトワの堀郁子とやはり  
素敵なメンバー。神戸のフ  
アンにとっては特に、最近  
東京でもりサیتالをした  
堀さんが聞きもの。結城久  
カルテットと吉川肇の「ア  
コ

ーデイオンをバックに」か  
もめ「アデュー」「人生は  
過ぎゆく」「お定うらみ節」  
などを競演、楽しみなフォ  
アカーになりそう。

チケット33000A25000お  
問い合わせ332-1755エトワ

# ★安藤義則ピアノ教室

ヤマハホールで発表会  
ヤマハのピアノ講師でも  
あるサントノレのピアノ

スト安藤義則さんが、去る  
5月19日、生徒を集めての  
発表会「ポピュラー・ピ  
ア

ノ・コンサート」をヤマハ  
神戸センターで開催、20人  
の生徒たちが日頃の練習の  
成果を発表した。このコン  
サートは昨年に続いて2回  
目で、出演者もリラックス  
して自慢のウデを披露。最  
後のステージでは、サント  
ノレ北野店のミュージシ  
ヤンを中心にジャズ曲を演  
奏した。

# ★宮永岳彦画伯を迎えて

優美な女性像を描く宮永  
画伯の神戸で初の個展が5  
月31日まで



宮永岳彦先生日本芸術院員 愛媛記念協会  
宮永夫妻に届けられた花束がこんな大丸で  
開かれた  
今回は芸  
術院賞受  
賞直後の  
個展でも  
あり神戸  
二紀と大  
丸共催の祝賀会が開かれた  
31日夜の風月堂ホールは様  
々な企画が組み込まれた楽  
しい宴となった。特筆すべ  
きは小西・鴨居氏を両脇に  
従えての木下横綱の土俵入  
と中西演出のカスバの夜。

# 美術 ガイド



# ★県立近代美術館

日本の近代版  
画展  
荒川修作全版画  
★兵庫県美術館  
近世の丹波焼  
館蔵の壺と定瓦  
7/7  
3/2116  
1/187  
8/87  
5/128

# ★南宝美術館

兵庫県立日本画家連盟公募展  
館蔵品展  
★西宮市大谷記念美術館  
日本の洋画展  
★KCAアートギャラリー  
県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCAアートギャラリー

県下在住作家による洋画サ  
ム  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

# ★KCCギャラリー

山下博展  
★ギャラリーさんちか  
第3回幼稚園児図画展  
第1回藤岡謙也書道展  
第1回藤岡謙也書道展  
第26回公募展はじび展  
第6回公募展はじび展  
夢のあるインテリア江戸屋  
丹波を中心とした日本12  
こうべ芸文美術展  
★きよるのいし神戸  
元川嘉津美展  
★ギャラリー新光  
唐津展  
★キタノサカス  
河添潤一郎展  
★東門画廊  
櫻忠順画展  
★シティギャラリー  
神野立生個展  
★芦屋ギャラリー  
★2回園田又三郎油絵展  
★さくら園田又三郎油絵展  
山下治油絵展  
古刀から現代刀まで日本刀  
洋画秀作展  
第3回星裏一版画展  
7/7  
2/11  
1/18  
3/31  
18/

熱い歓迎の神戸の町をたんのうされた様子の宮永夫妻だった。

★ボクは、こうして生まれできたんだ

「ボク、どうして生まれて来たの？」と子供に聞かれて、ハタと困った経験をもつパパやママは案外と多いもの。そういうパパやママが、子供たちと一緒に性の問題を考える手引きに、と出版されたのが「きみがしゅじんこうのおはなし」(株式会社斗夢発行)。

幼児向けの性教育絵本だが、可愛い絵と分りやすい文章とで、人間の誕生までのいきさつを解説したもの

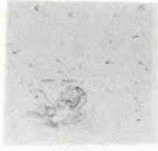
## 花時計



ボランティアの心

ポートピア'81もいよいよ本格的に動きはじめた。そのためもあってか、最近外国との間で民間の友好協会がいろいろ誕生している。神戸という街が国際性というイメージを保つためにも非常に意義のあることだと思う。

「あくまで、子供たちが性の問題に興味をもったときに



同書より  
絵本」と  
をサ  
リと教  
えるた  
めのこ  
と

で出版され、好評だ。

なお、同書は書店では販売していないので、申し込みに「斗夢」(大阪市南区安堂寺橋通2/28日宝劇場ビル4F 電話06-67076)まで。また、ご希望の方10名様にプレゼント。月刊神戸「子」きみがしゅじんこうのおはなし」までハガキでお申し込み下さい。締切6月30日。

★「屋根の上のバイオリン弾き」のカレンダー

今年度下半期(7月~12月)の文化ホルルのカレン

こんな民間の友好協会の動きは海外各国でも非常に盛んであり、日本での協会よりもはるかに強力だと聞いている。

元来、こういった協会が成立するためには、会の構成メンバーのボランティア精神が発揮されなければならぬ。

ところが日本では、このボランティア的思考が非常に稀薄なために協会の成立が危ぶまれたり活動がにぶくなったりするこれは文化全体に暗く重い影を落としている。

ダーができた。文化ホル



ステキなカレンダー

の自主公演の催しやグリーンステージ、あじさい音楽会の催しの日にはマークがついて判りやすく表示しているのがミソ。写真は11月23・24日公演の森繁久弥主演の「屋根の上のヴァイオリン弾き」の舞台写真。カラー印刷、A2判。希望者は文化ホルブルプレイガイドまで取りに行けば無料でもらえる。

先着100人迄。

海外では精神的活動にボランティア精神による奉仕は不可欠とされている、キリスト教精神文化と強くつながっている。

戦後、日本人は経済優先、メリット主義に陥り深く心を侵されてしまった。メリットなき事柄は罪悪視さえされている。

さわやかなボランティア精神の活動から活力ある文化が生れてくるのだ文化活動に参加するには必ずボランティア精神が要求されることを忘れてはならない。

△Y△

## ●KOBÉ POST

★元町画廊△佐藤慶幸☆は、今年60周年を迎え、その記念企画が年内に次々と立てられています。7月は元永正展、9月は7月10日にパリから帰国する西村功の作品展、9月の777展は、デュッセルドルフから一時帰国する植松奎二を加えて開かれ、10月末は山岡牧生展、11月は具象人間五人展と、今迄の蓄積に、さらに重厚さとスケールをみせて、神戸の美術家に密着した企画。60年の歴史を持つ画廊にふさわしく、後半期の美術界の話題を呼びそう。

★7月7日8日と東門画廊で檀忠が、ワンマンショーを開きます。

★神戸女学院大学・社会心理学、小関三平教授が、世界思想社より「風俗の人間学」を出版されました。(1300円)

★読売テレビのディレクター橋功さんが、神戸に転宅されました。〒653神戸市東灘区森北町501ノ17ラ・カサベルデ・タチバナ

★女流舞踊家の藤岡秀晃さんが5月に藤岡珠馨と改名されました。

★ハモンドの小田イタルさんが、キャンティ北店を円満退店し、北野町のメンバーズクラブ「利宮」で、午後8時より演奏。電話(222)1888。月曜定休。

★ビストロ・ドゥ・リヨンの山崎良平さんが、フランスのワイン界で権威ある Vigneron Honneur des Beaujolais をうけられました。

★本年度神戸文学賞の著書一さんが、石森信夫賞を受けた。児童作家としても脚光を浴びています。

★現代俳句の松の梢陽さんが、青玄義書第87集として句集「雲」を玄書房から出版。(2300円)

★7月10日3時25分から45分まで作家の春木一夫さんがNHKテレビで「北摂における本職上人」について話されます。

★筒井康隆作「12人の浮かれる男」が大阪の朝日生命ホールで公演。連絡先882-13268 筒井康隆 岡本君まで。

# おかげ様で祥容庵は十周年を迎えました。

十年の歳月が夢のうちに過ぎさり、ここ祥容庵にお寄せいただいた御厚情に対し心より御礼を申し上げます。今、初心に帰り一層精進を続けたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

森田 容子

神戸・平野

祥容庵

☎〇七八(三六一)五四一一



上は、祥容庵の正門。下左は二階座敷・下右は自然の中で一階棧敷。

ルポルタージュ

## ●知らない人の神戸／1

# 港から…

蒼 竜一

カメラ／緒方しげを

私はこのルポを港から始めることにした。と云うのは、一九六八年の冬、私の異国への旅立ちはまさしくこの港からなされる筈であった。それが、船に乗り遅れてしまい、急遽新幹線で船を追っかけ、横浜から乗船する

ことになった。そんなあわただしい思い出が、今度は逆にゆっくり港でも見物して来ようと言う気に、私をさせたのかも知れない。

春の一日、私は国鉄三宮駅で下車すると、あらかじめ

夕暮れの港にて



聞いてきた観光センターへ行つて、港への道順を尋ねた。いとも無愛想な返事がかえつて来たが、愛想よくしなければならぬ何らの理由はない。私は教えられた通り、地下街をそこう百貨店側のバス停へ、道路をくぐつて、教えられた中突堤行きのバスを捜した。しかし、ワシマンカーの運転手は、今はもう中突堤行きのバスはなくなつたと云う。それでは、港に一番近い所で降りしてくれと言つて、少し位なら歩くのもよからうとバスに乗つた。日本は本当に良い国である。たとえ女性が立つて居ようと、男は何ら痛痒を感じたりすることなく、遠慮なしに座つていてよいのである。私は異国で酷い腹痛のために座つていて、立つていた中年女性から男は立つべきであると露骨に言われた苦い経験がある。なぜこんなことを言うのかと言へば、さすが神戸で、バスに外人女性が二人乗り込んで来た時には、私は反射的に危うく立ちそうになっている自分を辛うじて抑えたのである。日本の男が無作法だと思われようと何あらん。『ローマにあってはローマ人の如く為せ(郷に入つては郷に従へ)』である。

私の内部に根ざしたこの異国感覚は、不意にバスに跳び込んで来た外人女性に触発されたことも多少はあろうが、それ以上に神戸の街の雰囲気そのものに惹き起こされたと言つた方があつていよう。女性の平均寿命が、男性のそれを凌駕している限り、我々は立つ必要などとは毛頭ないのである。

私はこのあたりで、読者に一言おことわりしておかねばならないことがありそうだ。神戸のルポを仰せつかつたものの、私は神戸については何も知らないのである。全く奇妙な程、知らないのである。

だから、所謂観光案内のルポは神戸をよく知つた人にまかせて、私は極めて主観的に、知らない人の神戸を追つてみたいと思うのである。しかし、私は神戸を知りたくないと言うのではない。それどころか、一度知れば知るほど知りたくなる、まるで性悪女のような魅力をこの

街は持つている。

神戸は不思議な街である。

南北に狭く、東西に長いこの街は、すべて港に向けて収斂して行くような印象を与える。

バスをおりた私は、ポートタワー目指して歩いて行く。亀井勝一郎の大和古寺風物誌「『ああ塔がみえる、塔がみえる』」そう思ったとき、その場で車をすてて、塔をめざしてまっすぐに歩いて行く。これが古寺巡礼の風情というものではなからうかと思う。"のような風情はない。塔は鋼鉄パイプを鼓型に組んだ百八メートルの無機質の建造物である。近代の塔はこのようにあらゆる情緒を拒否して立つていなければならないのであろう。塔を見上げたり埠頭を歩いたりしているうちに、港めぐりの観光船が人港して来たので、私はあわてて切符を買いに走つた。

船は、「ゆうかり」と云う冷暖房完備の新造船で、三月の中旬に完成したばかりだと云う。船は川崎重工の側を通り、バナナの荷揚げを専門にすると云う兵庫突堤から、三菱重工を右に見て、和田岬の手前で大きく迂回し、ポートアイランドのコンテナ・ベースに沿つて、神戸大橋へと向かう。このアーチ型の大橋は、昭和四十三年九月に着工して四十五年三月に竣工したと聞いた。三二メートルのこの橋には、上下あわせて八車線の車道があると云う。下から見あげると、この巨大な橋をわずか一年半の間に造りあげた人間の力が信じられないような気がする。

私がブラジルに居た一九七〇年頃、リオ・デ・ジャネイロから対岸のニテロイまで橋を架ける計画があつた。それまでも度々、政府は予算を計上したのだが、その度ごとに責任者の連中が、予算をポケットに入れてしまうものだから、橋はいつまでもその姿を現わさなかった。ただ橋杭が、二、三本紺青の海上に頭をもたげたまま、いつまでも放置されていた。

その頃、その架橋工事の責任者であつた大統領の弟が

何かが、工事費のほとんどを私事に使ってしまったと云うことが、新聞に載っていた。

碧い海を私は舟で二度ほど渡ったが、あの澄んだ空気と余りにも美し過ぎる風光に接しては、橋などはおもうとうでもよくなってしまうばかりか、どんな悪事でも自然に理解できてしまうから妙なものである。ところで、あの橋はもう出来あがっているであろうか。

私は最前から、何か物足りぬ気持ちを感じている。なにか変だ。何かが欠落しているのである。甲板に居て海を見ながら、海の上に居る気が、ちっともしない。なるほど、水の上にはねずみ色の巨大なタンカーがいて、お化けのような浮きドッグがあり、倉庫が見え、上屋が軒をつらねている。メリケン波止場にはハシケが処狭しと繋留されていて、タッグボートは荷役のためのハシケを、幾つもひっぱりつて海上を行く。非常に活気にあふれている。にもかかわらず、ここは海ではない。海に不可欠なものもある。あのむせるような磯の香りが、ちっともしないのだ。

神戸港の姉妹港だというシャトルを私は知っているが海辺の安宿は、寝室のベッドにまで磯の香が沁みこんでいた。男の血を騒がせる、なにか混沌たるヴァイオレンスがあった。あの強烈な海の臭いが無い限り、海は自然としての像を結ばないのである。そして、人を根源的な不安に誘う底知れぬ恐怖を蔵していないかぎり、海は牙をぬかれた狼となる。そして何物にもまして、この港はもはや人工に飼いならされた、翔ぶことを忘れた鳥、ひたすら卵を産むことによって人間に益をもたらす庭鳥の如きものであろう。神戸港は、神戸市民にとって毎日卵を産み続ける優秀なる庭鳥なのかもしれぬ。

人工的に創り出されて、どこまでが自然でどこまでが人工なのか、はつきりした区別がもはやつかなくなってしまう精巧な庭鳥なのである。

私の海のイメージは、浜には魚貝類の死骸がころがり、海藻の腐敗した臭気が鼻をついたり、時には大波が白波

を蹴立てて迫ってくる、さらには人の生命まで脅かす不気味な存在である。今から十年余り前、私は太平洋をアルゼンチナ丸と云う移民船に乗って渡った。約十八日間の航海中、私は毎日海と語り、海に思索すると云う日を過ごした。来る日も来る日も、海また海。一艘の小舟に遭う訳でない。

甲板に立つてぐるりと見渡す三百六十度、すべて紺青の世界。水平線は余りに近く、自分の足下に丸い円を描いていた。ために、キリスト教世界に生きる中世の人々が信じた如く、地球はお盆のようなもので、その涯は滝になって水が落ちていると言われれば、本気で信じられそうな気がした。この時のことは、三年程後に、ブラジルの七百町歩もある農場でトラクターに乗っていて、自分が地球のいちばん地表を耕している、見渡すかぎり三百六十度すべて地平線と云う時に感じた。地球は丸い」と云う印象とともに、強く私の心に刻みこまれた。

その時以来、海の見える高台で、潮風に吹かれて土地を耕し、海に没する夕陽を眺めて食事をする、そんな家に住みたいと云うのが、私の希望とはいっしかなかった。自分の認識世界の涯を見下ろしながら、地平線であれ水平線であれ、それは外界を統轄する内なる物の獲得であり、さらには内なる物を超えた外界への憧憬に生きることであろう。ここに生きる喜びに勝るものはなく、私にとって外的条件の一つが水平線を見おろす高台なる一軒の家。思えば神戸は、これまで私の夢に時として現われる非現実の街であったのだ。

私は現在、海のない山に囲まれた奈良に住んで、あの山の向こうに何があるのかと自問する人の如く、海に向って開いている人の気性と云うものを信じる。

船から降りた私は、ポートタワーに上ってみた。五月の連休にも再び私は港を訪れ、塔に上っているの、都合二度この塔に上ったことになる。三月の末に来た時には、カモメが水の上に白い紙クズのように浮かんでいた。



この巨大な橋をわずか1年半の間に造りあげた人間の力が信じられないような気がする（神戸大橋）

「カモメのジョナサン」はいなくても、  
「あひるのドナサン」（富士正晴の小説）  
位は居るかもしれないと思って眺めた。  
そのカモメも、今はシベリヤの空に消え  
て跡形もない。

展望三階の喫茶に入る。前に来た折、  
見落としていた個処である。

「回ってますね」と声を掛けると、黒子  
のあるおばさんが、誰でも黒子はあるけ  
ど、思いがけなく「はいッ」と充実した  
返事をかえしてくれた。そんなおばさん  
は、最近の日本ではそう滅多にお目に掛  
かれるものではない。

こんな人を置いているだけあって、こ  
の喫茶は実に値段が安いのである。山な  
ら百メーターも登れば、その分だけ飲み  
物の値段も上がるが、ここではその逆を行  
っている。

お客は、だいたい一回転して来て席を  
立つのが、普通人間の習性を見たが、店  
の回転を早めるために、展望台の回転を  
はやめたりはしないそうである。時間を  
計ると、一回転に要するのは、ほぼ十五分  
と四十秒であった。

自分の席が、喫茶のカウンターの前を  
通過する時、ふと覗きこんだ調理台の奥  
の壁に、「六つの心」と題する貼り紙が  
あって、お陰様でと言う謙虚な心などと  
並んで、「はいと言う、素直な心」とあ  
りました。

日本のもと総理の「十の反省」と云う  
のと、どちらが前に出来たのか聞いてく  
ることだけは忘れました。はいッ。

（次回はこちらかタウン）

# □ 第四回

# 神戸文学賞 神戸女流文学賞 作品募集

小社は昭和五十一年創刊15周年記念として神戸文学賞および神戸女流文学賞を創設いたしました。有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動のいっそうの発展のために微力を尽したいと願っております。第一回神戸文学賞は田磨新「島之内ブルース」、同女流文学賞は小倉弘子「ベットの背景」、第二回神戸文学賞は奥野忠昭「姥捨て」、吉峰正人「生活」の二作品（同女流文学賞は該当なし）、第三回神戸文学賞は蒼竜一「自由と正義の水たまり」、同女流文学賞は大原由記子「夢の消滅」に決まりました。ここに第四回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

## 〈募集要項〉

一、神戸文学賞は男性作品、神戸女流文学賞は女性作品とし、共に西日本在住者に限ります。

一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。

一、原稿枚数は四百字詰百枚前後。

一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品主題（創作主旨）をつけて下さい。

一、締切りは八月十五日（当日消印有効）

☆なお、選考は本誌が依頼した選考委員によって行います。

一、入選発表は本誌昭和五十五年新年号誌上。同号より作品を掲載します。

一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。

一、入選作品の著作権は本誌に属します。

一、入選作品各一篇には副賞として賞金二十拾万円が贈られます。

一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市生田区東町一三の一 大神ビル七階 月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。

電話〇七八—三三一—二二四六

主催／月刊神戸っ子